三信商会（湯たんぽ）が夕張に進出！

夕張緑陽団地（中小機構北海道）が完売

中小企業基盤整備機構北海道本部が分譲を手がける夕張緑陽団地（北海道夕張市）が2012年12月に完売した。最後の一区画（約1・4㌶）を購入し、夕張に進出するのは三信商会（横浜市青葉区、谷沢昇代表、045・929・5433）。同社はドイツ製湯たんぽの輸入販売を主力としており、国内だけでなくアジアでも知名度が高い夕張のブランド力を活用することを狙い、進出を決めた。谷沢代表は夕張での事業展開を通して、夕張再生にも貢献したいとの意向を示しており、夕張にとっては大変力強い進出企業となる。市内産業用地の完売を受け、夕張市と中小機構北海道本部は連携し、操業しやすい環境づくり、海外展開、人材育成など進出企業の支援に一層力を入れていく。

三信商会、最後の一区画

「高い知名度 活用」

湯たんぽ販売

三信商会が輸入販売を手がける湯たんぽを生産しているのは、ドイツのファシー（シュツットガルト市）。ポルシェ本社の近くに本社工場があるという。ファシーの湯たんぽは独自技術で一体成型する樹脂製。徹底した品質管理により高い安全性を実現しているのに加え、カラフルでかわいらしいカバーが豊富にラインアップされている。カバーの一部はベトナム、中国などで生産し、毎年新しいデザインを投入する。夏の寝苦しい夜や発熱の際などには水枕としても使える。昔ながらのブリキ製とは全く異なり、実用性が高くオシャレな湯たんぽだ。

三信商会の谷沢代表㊨を案内する鈴木市長

12月に夕張市役所で開かれた土地譲渡契約調印式

愛用者である冒険家でプロスキーヤーの三浦雄一郎さんとはスポンサー契約を結んでいる。登山を楽しむ人の増加に伴い、山に残された大量のゴミが問題になっている中、「どの山も汚したくない。限られた自然を守りたい」という三浦さんの思いに三信商会が賛同した。東日本大震災以降、省エネ意識が高まっているだけに、繰り返し使えて電気不要で、ゴミを出さない環境に優しい防寒具である湯たんぽの需要は増加していく可能性がありそうだ。

三信商会は三浦雄一郎さん㊧の自然への思いに賛同し、スポンサー契約を結んでいる

有力ブランド

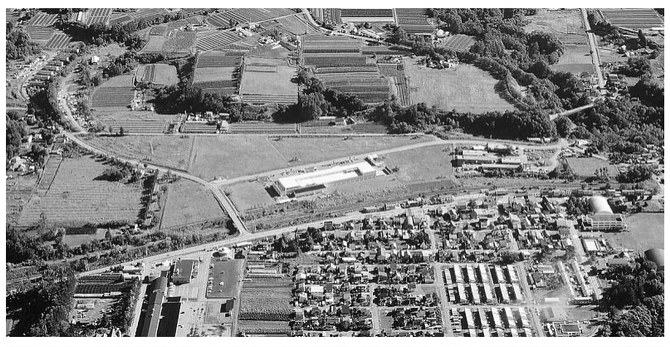
ドイツ製湯たんぽ以外にもさまざまな海外製品を扱う三信商会の谷沢昇代表は「中国、香港、台湾、東南アジアなどで、北海道は日本のブランドとして魅力的。北海道の中でも夕張はよく知られている」と指摘。この高い知名度を活用して湯たんぽ事業を展開していくことを目的に、夕張への進出を決めた。

ただ夕張を選んだ理由は夕張ブランド、立地環境、分譲価格などだけではなかった。丁寧な現地案内や詳細な資料の提供、立地アドバイスなど、夕張市と中小機構北海道本部による熱心な誘致活動も背景にあったという。夕張ブランドの知名度もあり団地への引き合いも多い中、いち早く進出を決断する決め手になった。

谷沢代表は「夕張ブランドの湯たんぽを普及させるにあたり、中小機構の支援も期待したい」と進出後のさまざまな支援メニューにも関心を寄せている。

三信商会は取得する約1・4㌶の用地に延べ床面積430平方㍍の湯たんぽを加工・保管する工場兼倉庫を建設する。5月に着工し、9月に操業に入る計画。当初の従業員は5人程度を予定。投資額は5000万―1億円を見込んでいる。

当面はファシーに夕張ブランドの湯たんぽの生産を委託。それらを夕張工場に輸送し、簡単な加工を行い、国内外に出荷する。「現在は夕張ブランドの湯たんぽの量産に向けて金型を共同で製作し、試験生産をしている」（谷沢代表）。第1弾は1万個程度を生産し、11―12月に発売する。販売数量を段階的に増やし、将来的には生産も夕張で行うことを視野に入れている。


アクリフーズなどが進出している夕張緑陽団地

シチズン夕張などが進出している清水沢団地

まず市内から

谷沢代表は夕張ブランドの湯たんぽを国内外に販売していく前に、「地元の人たちに当社が扱う湯たんぽがどんなものなのか知っていただきたい」と強調。まず市内の小中学生や新成人約600人に配布した。さらに1万人弱の全市民にも使ってもらう方向で、市の担当者と協議中。「夕張市民に知っていただくところから始めて、将来は夕張の湯たんぽを全国に定着させたい」と夕張からの新たな製品の発信に意欲をみせている。

夕張ブランドを武器に

夕張市長
鈴木 直道

企業とともに地域再生

全国そして北海道にも多くの産業用地がある中で、三信商会様に夕張緑陽団地を選んでいただいたことについて市民を代表して心から感謝します。私が夕張市長に就任した2011年4月、夕張緑陽団地は3区画が残っていました。11年度は2区画に企業を誘致することができ、最後の1区画に三信商会様が進出してくれました。

三信商会の谷沢昇代表からは「夕張ブランドを武器にしたい」「夕張から商品を発信したい」という熱い思いをお聞きしました。夕張をマイナスではなくプラスにとらえて発信していくという考えは私と共感できる部分であり、本市にとって非常に大きなことだと思っています。

三信商会様は湯たんぽ、健康靴下などを輸入販売しており、有名な通販雑誌で上位にランクされるなど、積極的に事業を展開しています。また北海道は冬の節電期間中であり、エコ意識が求められる中、湯たんぽは脚光を浴びているそうです。このような魅力ある商品を夕張から発信していただくことが、夕張のいまを国内外に広める契機になるのではないかと期待しています。

本市の財政破たんに伴い、北海道経済産業局、中小企業基盤整備機構北海道本部並びに北海道に協力いただき、我々もともに企業誘致に汗を流してきました。このたび完売に至ったことは、大変うれしいことです。

財政破たんした本市には、企業誘致のための部署も予算もありません。私用で上京した際、知り合いのツテを頼りにして企業を回りました。アピールポイントは〝安さ〟と〝近さ〟です。夕張は山あいにありますが、苫小牧港、新千歳空港まで車で約1時間の位置にあります。安価な分譲価格に加え、あまり知られていない港や空港への近さを売り込みました。

予算はなくとも、職員とともに知恵と足とでカバーした好例だと自負しています。企業に交通の利便性を知ってもらわなければ、進出先の選択肢の一つにもしてもらえなかったのではないかと思います。

産炭地域振興事業団（現中小機構）が夕張に最初の産業用地を造成したのが66年（昭41）です。それ以来、中小機構には主に産業用地への企業誘致活動を通じて夕張の発展に協力していただきました。現在、中小機構が分譲した五つの産業用地にアクリフーズ、シチズン夕張、石田鉄工など約20社が進出し、夕張の経済と雇用を支えていただいています。

本市は財政再生団体という状況の中、これからも厳しさが続きます。しかし企業の進出を受け、企業と一緒に市民、行政、議会などが地域再生に向けて汗を流していくことにより、必ず本市が再生するよう皆さんとともに体制を作りながら、市政を運営していきたいと思っています。

メッセージ

中小企業基盤整備機構北海道本部長
中島 真

産業用地で地域発展に貢献

中小企業基盤整備機構北海道本部は、北海道夕張市で当機構が手がける5番目の産業用地として夕張緑陽団地（11・1㌶）の分譲を1997年（平9）に始めました。07年、夕張市が財政再建団体になったのを受け、北海道、北海道経済産業局、当機構の3者により夕張再生支援に取り組むべく「夕張地域産業振興プログラム」を展開。3者と夕張市が連携して企業誘致に積極的に取り組んできた結果、今回完売する運びとなりました。

当機構は三信商会様がこれから展開する「夕張ブランド」の湯たんぽの開発、製造、販売のほか海外展開、人材育成など、さまざまなステージで支援したいと考えています。道外企業が北海道のブランド力を活用して営業展開するのは、非常に喜ばしいことです。

食品や観光などにおいて北海道ブランドは国内だけでなく海外でも有名ですが、道内にはモノづくりやIT関連などの分野でも優れた製品を生み出している企業がたくさんあります。当機構は道内各地で埋もれているブランドや優れた企業の取り組みなどを経営支援、人材育成、地域資源活用など、さまざまな支援ツールを使って、掘り起こしていきたいと考えています。

今後の進化に期待

北海道ブランドの中でも、夕張ブランドは夕張メロンをはじめとする食品、夕張ファンタスティック映画祭などの文化、マウントレースイスキー場などの観光といった多方面にわたる総合的なブランドとして、世界でも高く評価されています。湯たんぽという要素が加わることにより、さらにブランド力を高めることになると期待しています。夕張ブランドの今後の進化に期待するとともに、当機構としてもそのお手伝いをしていきたいと考えています。

夕張緑陽団地の完売により、企業誘致による夕張への支援はひと区切りつくことになりますが、今後も中小企業施策の総合的な実施機関として、中小企業支援などを通じて引き続き夕張の発展に貢献していきます。

また当機構は北海道内で夕張以外に空知団地、道央栗沢団地、旭川リサーチパークなどを分譲中です。それぞれの産業用地への企業誘致を通じて、北海道内各地域の発展に貢献していきたいと考えています。

北海道の産業用地にご注目！
アクセス良好、インフラ充実、低廉な価格。
好条件の産業用地をご案内いたします。

① 光ファイバーも整備。IT関連企業立地に最適！　旭川空港まで車で15分
旭川リサーチパーク　4,050～4,550円/m²
所在地／旭川市緑が丘東（旭川鷹栖I.C.から約10km、旭川空港まで約8km）　分譲中面積／0.3ha～1.0ha（8区画）　※価格有効期限／平成25年6月30日

② 大規模区画あり！　札幌まで車で60分
空知団地　690～1,070円/m²　分譲中面積／0.3ha～5.9ha（33区画）　大規模区画　390～630円/m²　分譲中面積／8.7ha、9.7ha、47.6ha
所在地／美唄市茶志内町、奈井江町字茶志内（美唄I.C.から約7km）　※価格有効期限／平成25年3月31日

③ 物流施設などに最適！　札幌まで車で40分
道央栗沢団地　1,290～1,960円/m²
所在地／岩見沢市栗沢町由良（岩見沢I.C.から約4km）
分譲中面積／0.5ha～4.7ha（19区画）　※価格有効期限／平成25年3月31日

事業化へチャレンジ！入居者募集中！
北大ビジネス・スプリング
大学連携型インキュベーション施設
所在地／札幌市北区北21条西12丁目2（北海道大学北キャンパス内）
入居条件、空室情報の詳細はホームページで
http://www.smrj.go.jp/incubation/ho-bis/

中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人
中小機構 北海道
北海道本部産業用地課　〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 ORE札幌ビル6階　TEL.011-210-7473
本部産業用地部　〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル　TEL.03-5470-1599
詳しくはインターネットで「産業用地ナビゲーター」 http://www.smrj.go.jp/sy-navi/ 産業用地 検索